

評価年度	令和4年度	事業実施年度	令和3年度	施策主管次長名	木戸 貴 秀	
施策番号	1-3	施策名	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう		総合計画掲載頁	70~79
主担当部名	教育部					
関連課名	秘書課、市民課、協働推進課、産業課、教育行政課、学校教育課、スポーツ課、生涯学習推進課、議事課					

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	生涯学習	R5 中間値	R10 目標値
指標名	生涯学習に関する取り組みの市民満足度割合 図書の貸出冊数		
指標の定義	「生涯学習」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート) 中央図書館での年間の貸出冊数	75% 47万冊	80% 50万冊
取組分野	文化・芸術	R5 中間値	R10 目標値
指標名	文化・芸術に関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「文化・芸術」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	75%	80%
取組分野	広域交流	R5 中間値	R10 目標値
指標名	友好都市交流事業参加者数		
指標の定義	士別市小学生派遣・スポーツ交流への参加者数、「友好の森ふれあいツアー」参加者数	170人	180人
取組分野	多文化共生	R5 中間値	R10 目標値
指標名	多文化共生に関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「多文化共生」の取り組みに対する満足度割合(アンケート)	55%	60%
取組分野	男女共同参画	R5 中間値	R10 目標値
指標名	男女共同参画に関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「男女共同参画」の取り組みに対する満足度割合(アンケート)	65%	70%

2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

指標①	取組分野1 生涯学習		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
	成果指標名	生涯学習講座の受講者数						
	対象	市民	人	7,748	1,564	5,179	8,400	8,500
	指標設定の考え方		市民に生きがいを持って学ぶ楽しさを感じてもらうため、生涯学習講座を開催する。					
	把握方法		生涯学習講座の受講者数					

指標②	取組分野2 文化・芸術		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
	成果指標名	展示会開催期間中の入館者数						
	対象	入館者	人	2,283	1,529	3,050	3,000	3,000
	指標設定の考え方		郷土の歴史、伝統、文化について関心を深めるため、展示会開催期間中の入館者数の増加を図る。					
	把握方法		展示会期間中の入館者数					

指標③	取組分野3 広域交流		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
	成果指標名	友好都市とのスポーツ交流回数						
	対象	市内小学校児童	回	2	0	0	6	6
	指標設定の考え方		スポーツを通じた参加者相互の交流を推進するため、スポーツ交流の機会を提供する。					
	把握方法		スポーツ交流の開催回数					

指標④	取組分野4 多文化共生		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
	成果指標名	「外国人のための日本語教室」の参加者数						
	対象	市内在住・在勤・在学外国人	人	126	96	86	140	145
	指標設定の考え方		市内在住・在勤・在学外国人の日本語コミュニケーション能力向上のため、日本語教室を開催する。					
	把握方法		日本語教室への参加者数					

指標⑤	取組分野5 男女共同参画		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5目標
	成果指標名	男女共同参画啓発事業の開催回数						
	対象	市民	回	13	12	11	15	15
	指標設定の考え方		男女共同参画の推進のため、市及び男女共同参画交流ネット登録団体等が各種啓発事業を開催する。					
	把握方法		各種男女共同参画啓発事業の開催回数					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)		
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関して、市民一人一人が生涯を通じて生きがいを持って学ぶことのできる場を充実させるため、幅広い分野でのライフステージにあった生涯学習講座を開催しているが、受講者が固定化する傾向が見られる。また、市民に気軽に文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、各種団体等が展示や発表を行うための施設の維持管理等に取り組んでいる。 多文化共生に関しては、外国人定住者が一市民として市や地域の活動に参加し、コミュニティを形成する機会の提供が必要になってきている。また、男女が互いに尊重しつつ性別に関係なく、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現に向けての取組の重要性が増してきている。 	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり豊かな生活を過ごすことができるよう、意欲的に学習活動に参加し、仲間づくりと自主的な活動に取り組むとともに、地域での文化活動に参加するなど、進んで文化・芸術活動に参加する。 国内及び国外との交流活動を通じて理解を深め、友好関係を広げるとともに、国際交流事業や市内在住の外国人とのふれあいを通じて外国文化への理解を深める。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 市民が生涯にわたり学習できる機会を提供するとともに、地域における自主的な生涯学習活動への支援を行い、併せて市民への文化・芸術に関する情報の提供や文化事業を開催するなど、文化活動への支援を行う。 国内及び海外との交流事業を積極的に実施するとともに、多文化共生、男女共同参画社会の実現を目指す。
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座受講者(延べ人数)の人口割合は8.5%であり、近隣の刈谷市(1.2%)、日進市(2.4%)、東郷町(0.8%)を大きく上回っている状況である。 国際交流に関しては、高浜市を除き西三河の各市で海外の都市と姉妹提携等をしており、あわせて日本語教室を開催。 男女共同参画では、審議会等の女性登用率は30.0%(R3.4.1現在)で、西三河9市では安城市(31.5%)に次ぎ2位であり、県内平均(27.7%)を上回っている。 	

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和2年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> 市民の誰もが受講できる生涯学習講座を、「生活創造」、「国際理解」、「情報通信」の3分野で、春夏、秋冬、新春の年3期開催するとともに、文化活動団体などと連携し、市民の文化・芸術に対する意識の高揚にも努めた。また、気軽に文化・芸術活動ができるよう文化センター「サンアート」や地域の公民館の整備や文化財保護にも取り組んだ。 令和元年度までは、友好都市交流として北海道士別市や長野県木曾町の他、米国インディアナ州コロンバス市とも様々なレベルで交流を深めてきた。(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止) また、外国人が地域社会で共に生活できる環境を整えるための多文化共生と、男女が性別に関係なく個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現のための事業にも取り組んできた。
令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、生涯学習に関しては、一部の講座について定員を減らし、年間143講座を開催した。歴史民俗資料館の展示会は3回開催し、文化財の保護、保存にも取り組んだ。また、文化・芸術活動の拠点となる文化センター「サンアート」の大規模改修工事が完了した。 交流事業では、士別市への小学生派遣、少年野球、少年サッカーのスポーツ交流団派遣を中止した他、木曾町との「友好の森ふれあいツアー」やコロンバス市への中学生派遣も中止とした。 多文化共生実現のための日本語教室や、男女共同参画啓発事業として「男女共同参画川柳」や「男女共同参画ステップアップセミナー」、「大学生向け講演会」のほか、令和3年度に初めて「市民向けLGBTセミナー」を開催した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業で中止や延期の他、リモート開催とし、日本語教室では入国制限もあって参加者が減少した。
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座に関して、一部の講座では受講定員に達せず、開催中止になる講座があり、講座の内容や実施形態などについて掘り下げて検討する必要がある。歴史民俗資料館では、施設の老朽化を含めて、今後のあり方について検討する必要がある。 多文化共生では、地域によって定住外国人が増加しており、外国人と地域住民との共生を支援する必要がある。 男女共同参画ではLGBTといった性的マイノリティへの理解の促進や、DVなどの社会的課題が発生している。

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和4年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関しては、令和4年3月に策定した「第3次みよし市生涯学習推進基本計画」を基に、これから生涯学習を始める人にとっても、これまでの活動を継続する人にとっても、自身が学びたいことを学ぶことができるよう学習経験に合わせたプログラムの提供などに取り組み、市民の生涯学習活動をサポートしていく。 施設整備では、個別施設計画に基づき、公民館の修繕工事を継続的に実施する。 文化・芸術の振興のため、文化協会などの文化・芸術団体への支援を継続するとともに、歴史民俗資料館では、展示事業や資料の収集、保存と調査研究を充実させるとともに、本市の歴史や文化を広く市民に発信していく。 交流事業に関しては、今後も士別市、木曾町、コロンバス市との相互理解を深める事業を継続的に実施する。 在住外国人と市民が互いの文化、風習等を理解し合い外国人が地域社会でともに生活できる環境を整える。 「みよし市男女共同参画プラン『パートナー』2019-2023」に基づき、男女共同参画の啓発事業の実施や審議会等の女性登用率の向上などによる女性の活躍を推進するとともに、LGBTといった性的マイノリティへの理解促進を図る。
施策目標達成に向けての令和4年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 新たに生涯学習に取り組む市民を増やすため、講座の回数や日時に柔軟性を持たせたり、増加が見込まれる高齢者向けの講座開催など、社会情勢と市民のニーズに即した講座の開催と、生涯学習への自主的な取組や地域への支援を進めていく。また歴史民俗資料館では、令和3年度に設置した「資料館在り方検討会」を引き続き開催し、資料館の今後に関する提言をまとめる。 施設整備では、地域の生涯学習の拠点となる公民館の老朽化に対応するため、4地区の公民館の修繕工事を実施する。 交流事業では、新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、士別市、木曾町との交流を行う。 多文化共生では、引き続き日本語教室の開催及び日本語ボランティアの育成に努める。 男女共生社会実現のための機運を醸成するため、「男女共同参画川柳」や「男女共同参画ステップアップセミナー」「大学生向け講演会」の開催や、男女共同参画交流ネット登録団体による自主講座への支援、情報交換会開催を継続する。 また、LGBTセミナーの対象を高校生や市職員に拡大するとともに、啓発冊子を作成し、市全体での理解促進を図る。 さらに、性別にとらわれず一人ひとりの個性が尊重され、誰もが自分らしく生活できる社会の実現に向け「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を新たに導入する。